

東 栄 小 学 校

栄



校 訓

きたえよう からだ
がんばろう どこまでも
みんななかよく たすけあおう

こんな子どもに

- 明るく 元気な子
- くじけず がんばる子
- よく考えて おこなう子
- 仲よく 助けあう子
- 物を 大切に使う子

本校は、平成17年度、尾張旭市より「肢体不自由児童受け入れ拠点校」の指定を受けました。日常の生活で歩行などに困難さのある児童も、通常学級に在籍しています。

こうした実態や、全校児童の実態、教職員の思い、保護者・地域の方の願いを踏まえて、二つの重点目標を定め、日々の教育活動をすすめています。

生きる力の育成

重点目標

共に生きる心

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成をめざす

相手のよさや違いを認めあい共に生きる心を育てる



基礎的な知識・技能

○けやきタイム (朝の10分学習)

国語・算数を中心に知識・技能の定着を図るため、繰り返し学習をすすめる。



生きる力の育成

自ら考え、判断し、表現する力

- 学習意欲を喚起させる授業づくり
- 知識・技能を活用して、考える力を育てる授業づくり
- 自分の思いを的確に伝えることができる表現力を育てる授業づくり
(言語活動の充実)

学習に取り組む意欲

- 「学習のきまり」として、「学習用具のきまり」や「読む・聞く・話すなどの学習に取り組む姿勢を指導しよい学習習慣を身につけさせる。

指導力向上を図る研修の推進

- わかる授業・楽しい授業をするために、指導力を向上させる研修を推進する。
- スーパーバイザーによる助言

「共に生きる」心を育てる教育活動

道徳

- 「共に生きる」心を育てるため、学年に合わせた指導の重点を設定した授業実践
- 道徳講演会の開催
様々な講師を招き、命の大切さや、がんばることの大切さ等についての話を聞く機会をもつ。



総合的な学習の時間

- 「共に生きる」に関連した学習を、教育課程に位置づける。
3年 福祉たんけん
4年 バリアフリー
5年 福祉について学ぼう
6年 一年生・障害のある子と仲良くなろう
※ 教育活動全体を通して、「共に生きる」心を育てる活動を、すすめる。

特別支援学級との交流活動

- 特別活動や道徳・総合的な学習の時間に交流活動をすすめる。

なわとび大会



ゲームワールド



2年生との七夕交流会

